

水辺や地域で活動している団体のみなさん
下水道管理者のみなさん

下水道から未来のために イノベーションを起こす 「下水道の市民科学」



水辺の生き物を観察している
けれども、もっと生き物が
増えないのかな？

自分が流した下水と
川や海との関わりを
調べてみましょう！

雨水はどこに流れて
いくのかな？

下水道がもっている
資源やエネルギーを、農業や地
域冷暖房に活用
してみたいな。

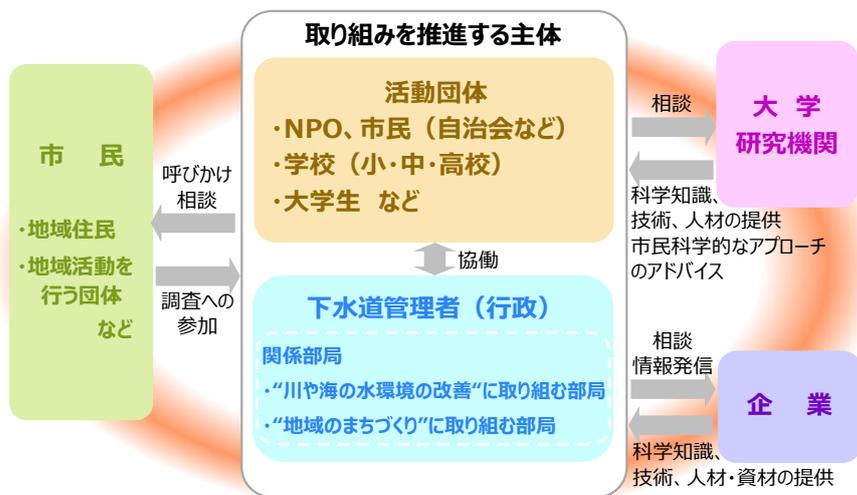


市民が調査研究に参加する「市民科学」は、社会の課題に対して行政や多様な組織と協働して積極的に取り組める優れたアプローチ（方策）になります。

「下水道の市民科学」、どのように取り組むの？

「下水道の市民科学」は、よりよい地域づくりに向けて、活動団体と行政が協働し、市民も下水道に関する調査研究活動に参画する取り組みです。

活動団体には調査研究の取り組みを推進する“主役”としての役割が期待できます。下水道管理者は、活動団体と協働で取り組みを進めるとともに、多様な主体との連携が図れるようサポートする調整役となりながら進めていきます。



下水道の市民科学の取り組み体制と主な役割

取り組むと、どのような効果があるの？

下水道から地域をよくする

下水道管理者（行政）

- 下水道の見える化により、下水道の役割、重要性、可能性、課題等について市民理解が深まります。
- 市民との連携により、地域の新たな目標が共有化されます。

活動団体（NPO、自治会など）

- 行政や市民との新たな連携を通じて、より深く、幅の広い実践的な活動が可能となり、効果的な社会貢献ができるようになります。

活動団体（学校など）

- 身近な水環境や生活に密着した下水道をテーマとした調査研究を通じて、身近な科学を楽しみながら学ぶ新たな視点が育成されます。
- 行政や市民との連携を深める実体験が、子どもたちの成長を促します。

市民

- 調査研究への参加を通じて、新たな学びや視点を発見する機会となり、生涯学習や社会貢献へのきっかけとなります。
- 地域づくりや身近な環境の課題解決に向けて、行政との協働関係を構築できます。

企業

- 地域の課題解決に向けた新たなサービスの提供や社会貢献活動につながります。

大学・研究機関

- 行政や市民との新たな連携を通じて、より深く、幅の広い実社会に生かす調査研究が可能となります。
- 広域的なデータ収集や解析ができる市民研究者を育成します。

詳しくは、国土交通省ホームページに掲載しているガイドブック本編をご覧ください。

下水道の市民科学

検索

http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000522.html

「下水道の市民科学」を導入したい方は、プロジェクトの相談窓口へご連絡ください。

プロジェクトに関する相談窓口：

国土交通省水管理・国土保全局下水道部流域管理官付 市民科学プロジェクト事務局

E-mail hqt-shiminkagaku-group@gxb.mlit.go.jp